

女性警察官

ジョセイケイサツカン

『わたしらしい』ってなんだろう。

何が好きで、何が大切に、

将来、何をしたいのか。

やりたいこと、夢、仕事。

今、世の中は、たくさんお仕事であふれている。

わたしは何を選択し、どう生きていくのか。

ほんのちょっとした想い

「人の役に立ちたい。」

ほんやりだけど、そんな想いから

繋がる「夢」がある。

ー夢がなかった、

夢がわからなかったあの頃のわたしに、

今のわたしを誇れることができるって

すごく幸せなことだと思う。

ヒト、街を守り、かけがえない

『日常』を守ることができる仕事。

警察官にしかできない、

わたしにしかできないことがある。



Female Police Officer

「女性警察官の職種は少なく、任される仕事内容も限られている。」と聞いていませんか。

警察といえば、「男性の職場」というイメージを抱きがちですが、業務を性別で区別することはありません。

女性だからこそ活躍できる、輝けるシーンがあらこちにあります。

結婚や出産などのライフイベントを経ても、安心して働ける体制が整えられています。

今日も女性警察官が第一線の現場に立ち、鹿児島県の安全・安心のために奮闘中です。この冊子が少しでも多くの将来の仕事について迷っている方、悩んでいる方の手元に届き、警察に対するイメージが変わったり、「警察官っていいな。」「わたしも将来こんな仕事をしてみたい。」と思っただけ、選択肢の一つに『警察官』が加われば嬉しいです。

実際、これを書いているわたし自身、高校2年生まで、はっきりした夢なんてありませんでした。

そんなわたしが警察官になったのは、たまたま身近に警察官と触れ合う機会、警察官について知る機会があったから。

ーあなたにとって、この冊子が、そんなちょっとした機会・きっかけになればいいなと思っています。

交番勤務のわたし

安心させられる存在に――



【警察官になろうと思ったきっかけ】

幼い頃に町中を颯爽と走り、交通違反を取り締まる白バイ隊員の姿を見て「カッコいい!!」と感じ、警察官になろうと思いました。

【好きなこと】

交番勤務の警察官は、地域住民の方に一番身近なところで活動をすることができます。

相談や落とし物の届出などのために、多くの方が交番を訪ねて来るので、一人一人に寄り添った対応を心掛けています。

初めは不安な顔をして交番を訪れた方が、安心した様子で帰って行く姿を見たときに、「安心してもらえて良かった。」とやりがいを感じます。

【休日の過ごし方】

休日は、日々の疲れを癒すため、同期と温泉に行ったり、お酒を飲みに行ったりしています。

また、旅行が好きなので、県外に行き、きれいな景色を見てリフレッシュしています。

【みなさんへメッセージ】

女性警察官として活動する中で、けんか現場などでは、男性警察官との力の差から自分の頼りなさを感じてしまう時もありますが、各家庭を訪問して犯罪や事故防止の広報などを行う巡回連絡や女性が被害に遭った事件の対応をした際に、「女性の警察官が来てくれて良かった。」「女性の警察官だったので安心して話ができた。」などと声を掛けていただくことがあり、そのような時には、住民の方を安心させることができた喜びから「警察官になって良かった。」と心から思います。

警察活動の中には、私たち女性にはしかなできない部分もあり、今後も女性警察官の活躍が期待されていると思います。

大変なこともありますが、多くのやりがいを感じられる仕事です。



警察署 地域課
2022年採用 巡査

【プロフィール】

身：鹿屋市
出身高校：鹿屋高校
部活：ソフトテニス部



地理案内中!